BOUSAI YACHIYO

防災ハザードマップ

風水害編

わが家の防災メモ

地図面の「避難行動判定フロー」を見ながら確認してみよう

▶「自宅」が、災害が想定される区域に入っていないか確認しましょう
※ハザードマップ上で、災害が想定される区域外であっても、雨の降り方など災害状況によっては、災害が、発生する可能性はありますので、ご注意ください。

▶自分が避難する避難先を決めましょう
※避難先は避難所に行くことだけではなく、親戚や知人宅など、ご自宅・ご自身の事情に合った避難先を決めましょう。
また、避難先までの安全な経路もあわせて［ハザードマップ］で確認しましょう。

	洪水浸水	土砂災害
危険区域の該当(自宅)	□ 該当なし　□ 該当(浸水深　m)	□ 該当なし　□ 該当
安全な避難先	□ 在宅避難　(2階以上へ垂直避難) □ 親戚・知人宅　(　　) □ 避難所　(　　)	□ 親戚・知人宅　(　　) □ 避難所　(　　)

家族の連絡先	氏　名	電話(会社・学校)	住　所	病歴・常備薬等

緊急連絡先	連絡先	電　話	連絡先	電　話

災害用伝言ダイヤル(171)の使い方

災害用伝言ダイヤルとは?　NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否等の情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。

伝言の録音	171 - 1 - 0×××-××-×××× (電話番号)	録音時間	1伝言あたり30秒以内
伝言の再生	171 - 2 - 0△△△-△△-△△△△ (電話番号)	伝言登録件数	電話番号あたり1～20件 ※災害状況により、登録可能な件数は異なります
ダイヤルなる電話番号	被災地域の人は自宅の電話番号を、または連絡をとりたい被災地域の人の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。	利用可能電話	固定電話、IP電話(050含む)、携帯電話、公衆電話

八千代市　危機管理課　TEL:047-483-1151(代表)

風水害等に備えて

一部内閣府広報誌から引用
一部国土交通省ホームページから引用
一部厚食ホームページから引用
一部千葉県ホームページから引用

大雨情報をキャッチ! こんなときのわが家の安全対策

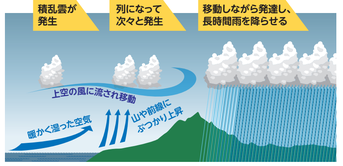
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合、特に警戒すべき事項を標題に明示して「大雨特別警報(土砂災害)」、「大雨特別警報(浸水害)」又は「大雨特別警報(土砂災害、浸水害)」のように発表する。
大雨警報	大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想される場合に発表する。
大雨注意報	大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想される場合に発表する。

雨の強さと降り方 (単位:mm/時)

10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
「やや強い雨」 ザーザーと降る。雨の音で話し声が良く聞き取れない。	「強い雨」 どしゃ降り。乗車時、ワイパーを速くしても見づらい。	「激しい雨」 バケツをひっくり返したような激しい雨。道路が川のようになる。	「非常に激しい雨」 滝のように降り、あたり が水しぶきで白くなる。傘は全く役に立たなくなる。	「猛烈な雨」 息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる雨。車の運転は危険。

線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の線状に伸びる強い降水域のこと。



記録的短時間大雨情報とは

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測(地上の雨量計による観測)したり、解析(気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析:解析雨量)したりしたときに発表されます。

この情報が発表されたときは、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しており、特に崖や川の近くなど、危険な場所にいる人(土砂災害(特別)警戒区域や浸水想定区域など、災害が想定される区域にいる人)は、避難情報を確認し、発令されている避難情報に従い、直ちに適切な避難行動をとってください。周りの状況を確認し、避難所への避難がかえって危険な場合は、少しでも崖や川から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所に移動するなど、身の安全を確保してください。避難情報が発令されていなくても、今後、急激に状況が悪化するおそれもあります。危険を感じた場合には、自ら安全な場所へ移動する判断をしてください。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、大きな被害をもたらすことがあります。
台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

台風の大きさと強さの目安

大きさ	風速15m/秒以上の半径	強さ	最大風速(m/秒)
大型(大きい)	500km以上～800km未満	強い	33m/秒以上～44m/秒未満
超大型(非常に大きい)	800km以上～	非常に強い	44m/秒以上～54m/秒未満
		猛烈な	54m/秒以上～

風の強さと吹き方 (平均風速:m/秒)

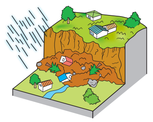
10以上～15未満	15以上～20未満	20以上～30未満	30以上
「やや強い風」 風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	「強い風」 風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。看板やトタン板が外れる。	「非常に強い風」 何かにつかまっていないと立っていられない。車を通常の速度で運転することが困難になる。	「猛烈な風」 屋外での行動はきわめて危険。多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁が倒壊する。

土砂災害の種類

突発的に発生し、すさまじい破壊力で一瞬にして多くの生命や財産を奪ってしまう土砂災害は、大きく3種類に分けることができます。

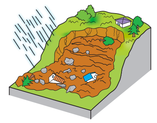
がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

集中豪雨や地震などにより地盤が緩み、抵抗力の低下や浮石の抜け出しが生じて瞬時に斜面が崩れ落ちる現象。突発的に起こり、崩れ落ちるスピードが速いため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合が高い。



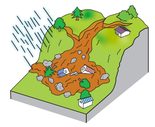
地すべり

比較的緩やかな斜面において、地中の滑りやすい層(粘土・泥岩などを含む地層)の地盤が地下水の影響などを受けて、ゆっくりと動き出す現象。一度に広い範囲が動くため、ひとたび発生すると人家、道路、田畑などに大きな被害を及ぼしたり、川をせき止めて洪水等を引き起こす原因になることもある。



土石流

渓流に貯まった土砂が、長雨や集中豪雨などによって一気に下流へ押し流される現象。時速20km～40kmと自動車なみの速度で流れ、破壊力がとても大きいため、人家や田畑を押し流し大きな被害をもたらす。



土砂災害から身を守るために

土砂災害の危険が迫ったときには、すばやく避難することが大切です。
いつもと違う大雨が降っているときには、避難準備をし、いつでも避難できるようにしてください。
以下のような事象はすでに土砂が流れ出ている可能性がありますので、
垂直避難など命を守るための避難を開始してください。

がけ崩れの前兆現象
- がけにひび割れができる。
- 小石がパラパラと落ちてくる。
- がけから水が湧き出る。
- 湧き水が濁る。
- 地鳴りがする。

地すべりの前兆現象
- 地面がひび割れたり陥没したりする。
- がけや斜面から水が噴き出す。
- 井戸や沢の水が濁る。
- 井戸や野池の水かさが急激に変わる。
- 建物や樹木が傾く。
- 亀裂や段差が発生する。

土石流の前兆現象
- 山鳴りがする。
- 急に川の水が濁り、流木が混ざり始める。
- 腐った土の匂いがする。
- 雨が降り続いているのに川の水位が下がる。
- 立木がぶつかる音やどがぶつかり合う音が聞こえる。

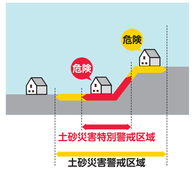
イエローゾーン・レッドゾーン

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域は、土砂災害防止法※に基づき、都道府県が指定しています。
※土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)
土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域。
危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)
土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域。
特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。



避難行動のポイント

1. 上記の土砂災害の前兆現象に注意し、すぐに避難する。
2. 土石流やがけ崩れの起こる方向に対して横方向に避難(①水平避難)する。
3. 大雨の中など外へ避難を行うのが危険と感じる時は、自宅2階以上の山の反対側の部屋や堅固な建物の上階へ避難(②垂直避難)することも考慮する。
4. 土砂災害警戒情報が発表された場合は、すぐに避難する。
5. 記録的短時間大雨情報が発表された場合は、早めに避難する。

避難に関する情報

市が出す避難情報と国や県が出す防災気象情報

洪水や土砂災害、河川の氾濫などの際に、5段階の「警戒レベル」を用いた避難指示などの避難情報を発信します。警戒レベル5【緊急安全確保】、警戒レベル4【避難指示】または警戒レベル3【高齢者等避難】が発令された場合は、避難行動をとりましょう。

警戒レベル	避難行動等	八千代市が発令	防災気象情報(気象庁等が発表)	気象状況の目安
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。		早期注意情報	大雨の数日～約1日前
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどにより避難行動を確認しましょう。		大雨注意報 洪水注意報	大雨の半日～数時間前
警戒レベル3	高齢者、障がいのある人、乳幼児など、避難に時間のかかる人は避難してください。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難	氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報	大雨の数時間～約2時間前
警戒レベル4	危険な場所から全員避難してください。	避難指示	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等	大雨の2時間前～大雨
警戒レベル5	命の危険! 直ちに安全を確保してください。	緊急安全確保	氾濫発生情報 大雨特別警報 等	数十年に一度の大雨

◎八千代市が発令する避難情報等に注意してください。
◎避難情報の確実な収集手段を確認しておきましょう。

■ 八千代市公式ホームページ
■ 八千代市ＬＩＮＥ公式アカウント
■ 八千代市Ｘ(旧Twitter)公式アカウント
■ やちよ情報メール
■ 防災行政用無線
(最高齢の聞き取りやすさにくなります。ほかの手段を併せて検討してください。また、自動電話応答サービスをご利用ください。)

防災気象情報の伝達(プッシュ型・プル型)について解説します。(出典:気象庁ホームページより)
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/shingikai/kentoukai/H24johokaizen/part1/part1-shiryo5.pdf

特別警報(気象庁が公表)

●尋常でない大雨や津波等が予想されています。
●重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
●ただちに身を守るために最善を尽くしてください。
●特別警報が出てからの避難では遅いです。

特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	
(注)過去の災害事例に照らして、指数(土壌雨量指数、表面雨量指数、流域雨量指数)、積雪量、台風の中心気圧、最大風速などに関する客観的な指標を設け、これらの実況および予想に基づいて発表を判断します。		
津波	高い所で3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける)	
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合(噴火警報(居住地域)※を特別警報に位置づける)	
地震(地震動)	震度6弱以上または長周期地震動階級4の大きさの地震動が予想される場合(緊急地震速報(震度6弱以上または長周期地震動階級4)を特別警報に位置づける)	

(※)噴火警戒レベルを運用している火山では「噴火警報(居住地域)」(噴火警戒レベル4または5)を、噴火警戒レベルを運用していない火山では「噴火警報(居住地域)」(キーワード:居住地域厳重警戒)を特別警報に位置づけている。

備蓄品および非常時持ち出し品

備蓄品および非常時持ち出し品

避難するときに最初に持ち出すのが「非常時持ち出し品」。災害直後から混乱が収まるまでの数日間、自給自足するための物資が「備蓄品」です。以下は一例です。特に「非常時持ち出し品」は、持って逃げられる量にしましょう。

非常時持ち出し品(とっさの場合に持ち出せるように準備しましょう)

- □ 携帯ラジオ
- □ 懐中電灯・ヘッドライト
- □ 予備の乾電池
- □ 携帯電話の充電器・バッテリー
- □ 栄養補助食品
- □ アメ・チョコレート
- □ 飲料水
- □ 救急用品(ばんそうこう、包帯、常備薬など)
- □ 持病の薬と医療器具
- □ マスク・体温計・アルコール消毒液
- □ 現金(公衆電話用の10円玉を含む)
- □ 防災用ホイッスル
- □ 防犯ブザー
- □ 軍手
- □ ライター・マッチ
- □ 使い捨てカイロ・うちわ
- □ 缶切り・ナイフ
- □ レジャーシート
- □ ヘルメット(頭を守るもの)
- □ 上履き・靴入用のビニール袋
- □ 毛布
- □ 筆記用具(油性マジックを含む)
- □ 洗面用品(タオル、歯磨き用品)
- □ 下着・靴下
- □ 長袖・長ズボン
- □ 防寒着・雨具
- □ アイマスク・耳栓

まとめておきたい大切な物(ファスナー付ビニールケースに入れておくと防水にもなります)

- □ マイナンバーカード・保険証
- □ 預金通帳
- □ 身分証明書(免許証等)
- □ 印鑑
- □ おくすり手帳
- □ 家族の写真

非常時持ち出し袋に入れておくことが難しい場合は、コピーをとっておくと安心!

備蓄品(少なくとも3日は自力で生活できるように準備しましょう)

- □ 食品(レトルト食品、アルファ米、缶詰等)
- □ 野菜ジュース
- □ 飲料水(一人1日3リットル程度)
- □ 給水用ポリタンク
- □ ティシュペーパー・ウェットティッシュ
- □ 紙皿・紙コップ・割り箸
- □ ビニール袋
- □ カセットコンロ・ボンベ
- □ ラップフィルム
- □ 水のいらないシャンプー
- □ 工具セット
- □ 簡易トイレ

女性の場合:おりものシート、生理用品
子どもがいる家庭:おもちゃ、お菓子
乳幼児・高齢者がいる家庭:オムツ、液体ミルク、常備薬、おしりふき、離乳食、使い捨て哺乳瓶
ペットがいる家庭:フード、水、トイレ用品(シート、猫砂など)、予備の食器、曜好品、ケージ、キャリーバック、首輪

ローリングストック法

普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法をローリングストック法といいます。
ローリングストック法のポイントは、日常生活で消費しながら備蓄することです。また、食料だけでなく、日常使いできる生活用品(ウェットティッシュ、カセットコンロ、カセットボンベ、乾電池、使い捨てカイロなど)にも応用することができます。

1～2日目

冷蔵庫・冷凍庫の食材を活用

食パンや野菜等は自然解凍により食べる事も可能。
冷蔵庫に食材を買い置きし、冷凍庫にもご飯や食パン、野菜、冷凍食品等の備蓄を。

氷は溶かして飲料水として活用も可能。
停電時、クーラーボックスや保冷剤等を活用して食材の保存を。

カセットボンベ1本で約60分使用可能。
1ヶ月で約15本必要(1日30分使用の場合)。
カセットコンロ・ボンベ
停電時等、冷蔵庫の食材や非常食を調理するために必須。

3～7日目

ローリングストック法で備蓄した非常食を活用

ローリングストック法
定期的(1ヶ月に1、2度)に食べて、食べた分を買い足し備蓄していく方法。食べながら備えるため、消費期限が短いレトルト食品等も非常食として扱えます。

その他備蓄しておくと良いもの
乾麺(ラーメン・パスタ等)
ゆで時間の短いものを。
缶詰
野菜や果物の缶詰で栄養を。
フリーズドライ食品(スープ等)
スープ類は食欲が無い時でも摂取可能。

※上記の日数・組み合わせは一例です。ローリングストック法等で1週間分の非常食を蓄えておくとより安心です。
※1週間分の飲料水、また生活用水も備えましょう。飲料水は一人1日3リットル×家族分の準備を。

その他のアイデア

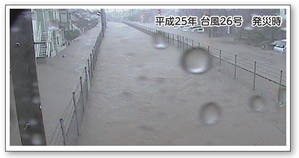
乾物
ミネラル・食物繊維の補給を。
漬物
伝統的な保存方法で。
家庭菜園
庭やベランダ等も活用して菜園を。

風水害に備えて

過去の風水害

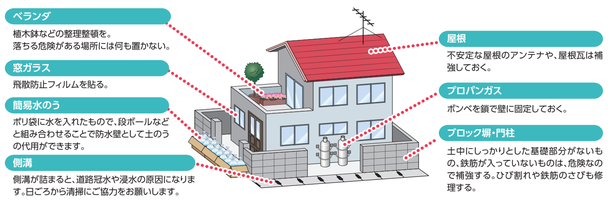
近年で最も被害が大きかった水害は、平成25年の台風26号で、八千代市では10月15日から16日にかけて連続雨量306㎜、最大1時間降水量61.5㎜(任意の1時間の値)の豪雨となり、床上浸水178棟、床下浸水184棟、崖崩れ8箇所が発生しました。特に、八千代1号幹線沿線での浸水被害が多かったことから、市では、調整池等や住民の方が水位を確認できるよう水位監視カメラを設置するなどして、浸水被害軽減対策を実施しております。(詳細は、地図面をご確認ください。)

平成25年　台風26号

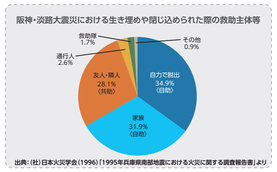


【出典:八千代1号幹線水位監視カメラ　大和田南小学校方向を撮影】

家の周囲の安全対策



地域で行う防災活動



被害が広範囲にわたる災害時には、消防や警察などの公的機関の救出・救助部隊がすぐに来ることは限りません。
そのような場合は、地域の皆さんが力を合わせた救出、救助活動が大切になってきます。そのためには、「自主防災組織」などを通じた、日頃の訓練が欠かせません。初期消火や救出救護など、地域で協力し被害を広げない対策も必要です。また、防災ハザードマップを活用し、住居から避難先までの安全確保できる経路や浸水想定区域等を確認するなどの訓練を地域で行い、災害に備えましょう。

八千代市が実施する「総合防災訓練」にも参加しよう

「自主防災組織」の役割・活動

平常時
- 防災訓練の実施
- 講習会など防災知識の普及
- 防災用資機材の準備、点検(防災マップづくり)
- 災害時要配慮者の把握と支援体制の整備

発災時
- 初期消火活動
- 救出、救護活動
- 住民の避難誘導

避難場所・指定避難所一覧表

INDEX	名称	所在地	避難場所	避難所	ペット同行避難
D-8	大和田南小学校　【風水害時は利用不可】	大和田628	○	○	○
D-7	大和田小学校	萱田町628	○	○	○
B-7	南高津小学校	高津421-3	○	○	○
B-7	高津小学校　【風水害時は利用不可】	高津738-6	○	○	○
A-7	西高津小学校	高津832-38	○	○	○
A-7	新木戸小学校	緑が丘2-4	○	○	○
A-5	みどりが丘小学校	緑が丘西3-14	○	○	○
C-6	萱田南小学校及び八千代市総合生涯学習プラザ アリーナ ※避難場所は萱田南小学校グラウンド	ゆりのき台3-7-3	○	○	○
D-6	萱田小学校	ゆりのき台6-20	○	○	○
C-7	大和田西小学校	大和田新田409-3	○	○	○
C-4	睦小学校	桑納176	○	○	○
C-9	八千代台東小学校	八千代台東2-5-1	○	○	○
D-8	旧八千代台東第二小学校跡地広場(やちよだい第二マイル広場)	八千代台東6-27	○	-	-
C-9	八千代台小学校	八千代台西1-8	○	○	○
B-9	八千代台西小学校　【風水害時は利用不可】	八千代台西7-23-1	○	○	○
E-7	村上小学校	村上1113-1	○	○	○
E-6	村上東小学校	村上1113-1	○	○	○
E-6	村上北小学校	村上1113-1	○	○	○
D-3	旧米本小学校　【風水害時は利用不可】	米本1386-6	○	○	○
E-4	旧米本南小学校	米本2301	○	○	○
E-5	旧阿蘇小学校	米本2586	○	○	○
F-8	勝田台小学校	勝田台2-14	○	○	○
F-8	勝田台南小学校	勝田台5-9	○	○	○
D-7	大和田中学校	萱田町645	○	○	○
B-7	高津中学校　【風水害時は利用不可】	高津880-4	○	○	○
C-7	東高津中学校	高津1092	○	○	○
D-6	萱田中学校	ゆりのき台7-8-1	○	○	○
B-4	睦中学校	島田台756	○	○	○
B-9	八千代台西中学校　【風水害時は利用不可】	八千代台西7-23-3	○	○	○
C-8	八千代中学校	八千代台北14-9-1	○	○	○
E-7	村上中学校	村上1643-55	○	○	○
E-6	村上東中学校	村上1113-1	○	○	○
E-5	阿蘇米本学園	米本1914	×	○	○
E-8	勝田台中学校　【風水害時は利用不可】	勝田台3-1	○	○	○
B-7	高津公民館	高津832-1	×	○	×
B-6	緑が丘公民館	緑が丘3-1-7	×	○	○
B-4	睦公民館	島田台756	×	○	×
C-9	八千代台東南公民館	八千代台南1-11-6	×	○	○
C-9	八千代台公民館	八千代台西1-8	×	○	○
E-6	村上公民館	村上1113-1	×	○	○
D-4	阿蘇公民館	米本1359	×	○	×
F-9	勝田台公民館	勝田735-7	×	○	○
C-7	福祉センター	大和田新田312-5	×	○	-
D-9	八千代台近隣公園小体育館	八千代台東3丁目地先	×	○	-
F-8	勝田台中央公園小体育館 ※避難場所は勝田台中央公園	勝田台3-31-3	○	○	-
F-5	ふれあいプラザ	上高野640-2	×	○	-
B-6	京成バラ園	大和田新田755	○	×	-
C-2	秀明大学	大学町1-1	○	×	-
B-9	八千代台西市民の森	八千代台西9-138他	○	×	-
C-9	八千代台南市民の森	八千代台南3-37-1他	○	×	-
C-9	八千代台第12公園	八千代台北3-9-1	○	×	-
D-7	八千代総合運動公園	萱田町253他	○	×	-
E-8	八千代高等学校	勝田台南1-1-1	○	×	-
F-7	酒井ブラウンド	上高野1270-3他	○	×	-
E-4	保品近隣公園	保品177-2-19他	○	×	-
B-8	陸上自衛隊演習場	高津地内	○	×	-

表の見方
- INDEX ・・・・ 八千代市防災ハザードマップ(地図面)上の施設の位置
- 避難場所 ・・・・ 地震・火災の際に一時的に身の安全を図る場所(学校の場合はグラウンドが避難場所となります)
- 避難所 ・・・・ 災害時、自宅で生活することが困難な場合に避難生活を行うことが可能な施設(開設後に避難可能)
- ペット同行避難 ・・・・ ペット同行避難が可能な施設
  ※ペットは避難所には入れません。ペットは、屋外のペット専用スペースへの避難となります。
  ※ケージやフード等、ペットの飼育に必要な物は、飼い主ご自身で準備してください。

インターネットを利用したリアルタイム情報

八千代市

●八千代市ホームページ
八千代市の様々な情報を発信しています。
防災行政用無線の内容が掲載されています。
https://www.city.yachiyo.lg.jp/

●避難所開設・混雑情報「VACAN Maps」
市内の避難所の位置情報、開設状況、開設されている避難所の混雑状況について確認することができます。
https://vacan.com/area/yachiyo-city-evacuation/evacuation-center/12

●八千代1号幹線　水位状況
八千代1号幹線の水位状況を確認できます。
http://www.yachiyo-1goukansen-suii.jp/

●八千代市Web版防災ハザードマップ
地震、洪水などの水害、土砂災害が発生したときの危険箇所や避難所などをインターネット上で確認できます。
多言語(英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語)でも対応しています。
https://www.city.yachiyo.lg.jp/soshiki/11/2171.html

気象情報

●千葉県防災ポータルサイト
千葉県の防災に関する様々な情報を公開しています。
https://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/

●千葉県防災ポータルサイト(雨量・水位情報)
最新の雨量・水位情報をお知らせします。
http://suibo.bousai.pref.chiba.lg.jp/

●千葉県土砂災害警戒情報システム
土砂災害警戒情報を補足する詳細な危険度情報を提供しています。
http://dosyabo.bousai.pref.chiba.lg.jp/chibaDosya/web/top/

●気象庁(銚子地方気象台)
気象庁の防災情報や天気、各種データやコラムなどを公開しています。
https://www.jma-net.go.jp/choshi/

●気象庁「キキクル」(危険度分布)
大雨による災害発生の危険度の高まりを地図上で確認できる「危険度分布」を確認できます。
https://www.jma.go.jp/bosai/risk

●国土交通省　川の防災情報
全国の川の水位や洪水予警報を提供しています。
https://www.river.go.jp/s/

●国土交通省　関東地方整備局　利根川下流事務所
利根川の雨量や河川水位などを確認できます。
https://www.ktr.mlit.go.jp/tonege/

ライフライン

●東京電力パワーグリット(停電情報)
サービスエリア内で発生している停電情報をお知らせします。
https://teideninfo.tepco.co.jp/

●東京ガス(復旧マイマップ)
供給停止を伴う大規模な地震が発生した際に、復旧進捗状況を確認できます。
https://fmap.tokyo-gas.co.jp/

八千代市の情報配信サービス

●やちよ情報メール
防災情報等をあらかじめ登録していただいた携帯電話やパソコンのメールアドレスへ電子メールで配信いたします。
<登録方法>
上記の登録用二次元コードを携帯電話のカメラ(バーコードリーダー)で読み取るか「bousai.yachiyo-city@raiden3.ktaiwork.jp」に空メールを送信してください。
案内メールが自動的に配信されますので、確認して登録してください。
※携帯電話で迷惑メール対策をされている方は、上記のメール及びドメイン名「@city.yachiyo.chiba.jp」からのメールを受け取れるように設定してください。

●LINE
防災・緊急情報などを発信します。スマートフォン等で見ることができます。原則として返信は行いません。
<登録方法>
上記の登録用二次元コードをスマートフォンのカメラ(バーコードリーダー)で読み取るかLINEで「ホーム」画面から、「友だち追加」で「検索」を選び、ID「@yachiyo_city」で検索して友だちに登録できます。

●X(旧ツイッター)
防災・緊急情報などを発信します。携帯電話やパソコンで見ることができます。
原則としてフォローや返信は行いません。
<登録方法>
上記の登録用二次元コードを携帯電話のカメラ(バーコードリーダー)で読み取るか「http://twitter.com/yachiyo_shi」にアクセスし「ツイート」を押すと八千代市の情報が表示されますので、お気に入り等に追加してください。

防災行政用無線が聞き取りにくいとき

●防災行政用無線　自動電話応答サービス
防災行政用無線で放送された内容を確認したい場合の自動電話応答サービスです。(24時間以内の直近の内容が記録されています。)

専用電話番号(通話料無料)
0120－970－911